

平成 29 年 度

外 国 学 校 出 身 者 入 試  
学 生 募 集 要 項

横浜国立大学経済学部

## 平成29年度 横浜国立大学経済学部

### 外国学校出身者入試学生募集要項

#### ○経済学部のアドミッション・ポリシー

経済学部では、経済社会に常に関心を持ち、自分の力で課題を解決しようとする意欲のある人を求めます。

1. 数学、外国語の基礎的学力を備えた人
2. 必要な情報にアクセスするだけでなく、自己の思考で整理し、さらに自ら情報を発信する力を身につけようとする人
3. 知的好奇心に溢れ、新しい見方やアイデアを具体化し、世の中に貢献していこうとする人
4. 市場システム・経済社会制度を学び、経済学的手法で経済社会の諸課題の解決に挑戦したい人
5. 経済・社会・歴史・制度に深い関心を持ち、世界経済を長期的に展望する能力を育み、国際社会が抱える問題の解決に貢献していこうとする人
6. 経済と法律にまたがる事象に関心があり、経済学と法学の基礎的素養を修得し、法律の専門知識が生かせる仕事に就きたい人

#### ○Global Business and Economics 教育プログラム (GBEEP) について

本学部では平成29年度から Global Business and Economics 教育プログラム (経済学部・経営学部共同教育プログラム) : GBEEP を設置します。外国学校出身者入試では Global Business and Economics 教育プログラムの選択を希望することができます。

本プログラムは以下のような独自の教育体系を用意します。

1. 経済学を主専攻、経営学を副専攻として選択し、経済学に基づくマクロ的な分析能力と統計処理能力、経営学に基づく組織・戦略マネジメント能力と会計・財務分析能力の2つの専門性を修得することで、グローバル企業で活躍できるビジネス・パーソンを目指します。卒業に必要な単位数は、通常のプログラム(124単位)よりも多い132単位です。
2. 英語による専門科目を必修とします。経済学・経営学それぞれの専門科目及び課題プロジェクト演習(課題解決型、双方向型学修)などを英語で受講します。
3. 海外学修が必修です。
  - ① Applied Economics Intensive (海外の大学でのサマースクール) など、海外英語集中キャンプへの参加。
  - ② 欧州・アジア英語討論会 (海外協定校訪問と現地学生との英語討論会を中心とした交流活動) への参加
  - ③ 海外協定校等への留学。

本プログラムでは上記①～③のうちひとつ以上の選択が必須となり、その際、渡航費・滞在費等の一部あるいは全額について個人負担を伴います。①～③の具体的な内容については平成28年度時点のものについて本学部HP(下記)で紹介しています。

[http://www.econ.ynu.ac.jp/international/event/pdf/global\\_studies\\_in\\_economics\\_2016.pdf](http://www.econ.ynu.ac.jp/international/event/pdf/global_studies_in_economics_2016.pdf)

横浜国立大学経済学部→国際交流・留学→国際交流イベント→Global Studies in Economics

## ○外国学校出身者入試の趣旨

外国の教育制度の下で学んできた若者に、日本の大学教育の門を大きく開きたい。それによって異なる文化的風土が交流しあい、大学教育の国際性がいっそう深まることを期待したい。

そのような意図にたって本学部では、下記によって外国学校出身者の特別入試を行い、学部学生として迎え入れることとしました。

- (注) 1. 入学後の教育は、一般の入試により入学した者と一緒に行います。  
2. 本学部における授業は、一部分を除き日本語で行われます。  
3. この「特別入試」の制度は、昭和60年度より実施しています。  
過去10年間の合格者は下記のとおりです。

年 度	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28
合格者数	24	14	23	12	11	12	11	11	7	14

### 1. 募集人員

経済学科 若干名

うち Global Business and Economics 教育プログラム 若干名

### 2. 出願資格及び要件

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の基礎資格を有し、かつ、基礎資格に対応する要件を満たす者

#### 【基礎資格】

外国の学校教育を受けた者で、次のいずれかに該当する者

1. 外国において学校教育における12年の課程（※）を平成27年(2015年)4月1日から平成29年(2017年)3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者
2. 外国において次の資格のいずれかを平成27年(2015年)又は平成28年(2016年)に授与された者で、平成29年(2017年)3月31日までに18歳に達する者
  - ①スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
  - ②ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
  - ③フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

※「外国において学校教育における12年の課程」とは、最終学校が地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業（修了）により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者（【基礎資格】2を満たす者は除く）については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会すること。

#### 【要件】

「基礎資格1.」により出願する場合は、次の1及び2に該当する者

1. 外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けていること

なお、外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けた者とはみなしません。

2. 中等教育修了時に課される国家試験等の統一試験又はこれに準ずる試験（※）を受験できる国の学校を修了あるいは修了見込みの者は、その試験を受験していること（当該試験が大学入学資格試験あるいは中等教育修了試験である場合には、その試験に合格していなければなりません。）

（※）「国家試験等の統一試験又はこれに準ずる試験」についての詳細は、次のとおりです。

①アメリカ合衆国の教育制度によるもの

SAT（Reasoning Test）及び TOEFL（Test of English as a Foreign Language）を受験している者  
（片方のみの受験では無効）

②イギリスの教育制度によるもの

GCE（General Certificate of Education）の Advanced レベルを2科目以上合格している者

③それ以外の国の教育制度によるもの

その国に統一試験が存在する場合には、その統一試験を受験している者

その国に統一試験が存在しないか、出願期間中に統一試験の結果を提出できない場合には、

①又は②を受験すること

### 3. 出願手続

- (1) 入学志願者は、(3)の「出願に要する書類等」を一括して出願してください。出願の受付は社会科学系経済学務係窓口または郵送で行います。郵送の場合は必ず本学部所定の封筒（書留郵便）を使用してください。また、出願時に外国にいる場合は必ず日本国内の連絡先を通じて出願してください。

- (2) 受付期間は平成28年(2016年)9月9日(金)から9月15日(木)17時まで。郵送の場合でも9月15日(木)までに必着のこと。

(ただし、窓口受付は土・日・祝日を除きます。)

- (3) 出願に要する書類等

「2. 出願資格及び要件」のうち【基礎資格】1の資格で受験する者は、下記のうち⑤を除くすべての書類を提出してください。【基礎資格】2の資格で受験する者は、下記のうち④⑥を除くすべての書類を提出してください。

出願書類は全て、必ず**原本**を提出してください。原本の提出ができない場合は、社会科学系経済学務係窓口にて原本を持参し、原本の照合を受けたコピーを提出してください。

①入学願書（本学部所定用紙）

(注) Global Business and Economics 教育プログラムの希望の有無について、入学願書該当欄の「 希望する」「 希望しない」いずれかの 内に  を記入してください。ただし「 希望する」を選択した志願者が本学部合格した場合でも同プログラムを専攻することはできない場合があります。

②身上記録（本学部所定用紙）

- ③写真1枚（提出前3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽、縦4cm×横3cmの写真。写真票に貼付してください。）

④成績証明書、卒業（修了）証明書等

在籍した全ての高等学校の成績証明書及び、最終出身学校の卒業（修了）証明書又は同見込証明書で、出身学校長の氏名が記載されたもの。日本語もしくは英語以外で書かれている場合は、その証明書の日本語訳もしくは英語訳を添付して提出してください。さらに、翻訳された

内容が原本と相違ないことを出身校もしくは大使館等の公的機関で証明を受けて添付してください。必ず、原本・訳文・翻訳証明の3点を提出してください。

#### ⑤国際バカロレア・アビトゥア・バカロレアの資格証書等

国際バカロレア資格を取得している者は成績評価証明書および Diploma を、アビトゥア資格またはバカロレア資格を取得している者は成績評価証明書をそれぞれ提出してください。

#### ⑥統一試験等の成績評価証明書

「2. 出願資格及び要件」の【要件】に掲げる統一試験等を受験した者は、その成績評価証明書を提出してください。

(注1) 2. ①アメリカ合衆国の教育制度による成績評価証明書については、試験実施機関 (SAT は College Board (CB)、TOEFL は Educational Testing Service (ETS)) から**直接本学に直送されるもの**を正式な成績評価証明書とします。

なお、試験実施機関における横浜国立大学の登録コード番号は、CB については**3785**、ETS については**0410**です。

(注2) カナダの教育制度による成績評価証明書については下記の書類を提出してください。

ア) ブリティッシュ・コロンビア州の教育制度によるもの：

Provincial Exam の成績が記載された成績証明書

イ) オンタリオ州の教育制度によるもの：

大学進学のために Grade12 で取得する University Preparation (U) courses または University/College Preparation (M) course 6 単位が記載された証明書

ウ) その他の州の教育制度によるもの：

平成28年8月19日(金)までに社会科学系経済学務係にメールで問い合わせてください。

(注3) 手続きを行ってから到着までに一ヶ月以上かかる場合もありますので、統一試験等の成績を直送する場合は、出願期間に間に合うよう早めに手続きをしてください。

#### ⑦入学検定料

**払込金額：17,000円**

**払込期間：出願期間に間に合うように払い込んでください。**

**払込方法：次のいずれかの方法で払い込んでください。**

##### ア 郵便局・ゆうちょ銀行で支払う場合

- ① 本学所定の「払込取扱票」を使用し、各票の「ご依頼人の欄」は、志願者本人の氏名を記入してください。
- ② 郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口で払い込んでください。(ATM は使用不可) なお、土曜・日曜・祝日は払い込みができませんので注意してください。
- ③ 「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書 (お客様用)」を郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る際には、必ず受付局の日附印を確認してください。
- ④ 払込時に別途必要な払込手数料は志願者本人の負担となります。

##### イ コンビニエンスストアで支払う場合

- ① セブン・イレブン、ローソン、ファミリーマート、サークル K・サンクスで支払うことができます。店内にある情報端末機を操作の上、必ずレジにてお支払いください。(ATM は使用不可。)
- ② 情報端末機の操作手順は、9 ページの「入学検定料のコンビニ支払方法のご案内」を参照してください。

③ 払込時に別途必要な払込手数料は、志願者本人の負担となります。

(注1) 入学検定料が払い込まれていない場合、払い込み済みの「振替払込受付証明書(お客さま用)」または「検定料収納証明書」が所定の添付用紙欄に貼り付けていない場合は、出願を受理出来ません。

(注2) 入学検定料を払い込んだが「出願を取りやめた場合」や「出願が受理されなかった場合」及び「入学検定料を二重に払い込んだ場合」は本人の申し出により返還します。返還請求を行う場合は、社会科学系経済学務係に申し出てください。

(注3) 第1次選抜で不合格になった者に対して申し出により13,000円を返還します。返還請求を行う場合は、選抜結果通知書に同封する検定料返還請求書で請求してください。

※出願書類を受理した後は、(注2)、(注3)の場合を除き、いかなる理由があっても払い込み済みの検定料は返還しません。

(注4) 本学では災害等で被災した受験生の進学機会を確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。特別措置を希望する方は <http://www.ynu.ac.jp/exam/index.html> (災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除特別措置について) をご確認の上で社会科学系経済学務係までお問い合わせください。

⑧返信用封筒2枚(本学部所定封筒に、住所・氏名を明記してください。2枚とも372円分の切手を貼付してください。)

⑨住所氏名記入用紙2枚(本学部所定用紙)

⑩在留カードの写し(外国籍の者のみ)

両面をコピーして提出すること。

(4) 出願に当たっての注意事項等

①本学他学部の帰国生徒入試との併願は認めません。

②出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

③出願書類の記載事項の記入漏れ、その他不備のある場合には、出願書類を受理しません。

④いったん提出した書類は一切返還しません。

⑤入学に関する問い合わせは、照会者本人の住所及び氏名を記入し、82円切手を貼付した返信用封筒を同封のうえ社会科学系経済学務係に照会してください。

#### 4. 選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜の2段階で行います。

(1) 第1次選抜(書類選抜)

出願書類により第1次選抜を行います。第1次選抜は統一試験等成績評価証明書、出身学校成績証明書により行います。(結果発表の1週間前になっても受験票が届かない場合は社会科学系経済学務係へ連絡をしてください。)

合格者の発表は次のとおり行います。(※掲載期間は合格者発表日から4日程度です。)

日時	方法等
平成28年(2016年) 11月18日(金) 13:00頃	左記日時に、本学ホームページに合格者受験番号を掲載します。 また、志願者全員へ選抜結果を郵便で発送します。 (URL: <a href="http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html">http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html</a> ) なお、電話による照会には応じません。

## (2) 第2次選抜（筆記試験及び面接）

第1次選抜の合格者に対し、次の日程により筆記試験及び面接を行います。

期日	教科等	時間・選抜方法等	実施場所
平成28年11月28日（月）	小論文	10:30～12:00 社会科学に関するテーマについての基本的な理解、見解の獨創性・論理性、論文の構成力・表現力等をもって評価する。	経済学部
	面接	13:00～ 複数の面接員による個人面接で、外国学校で学んだことや海外体験、そこでの勉強の達成度をどのように自己評価するか、大学で何を学びたいのか、その対象に対する基礎知識と問題解決能力などを評価する。最終出身学校の成績証明書及び統一試験等の成績評価証明書の評価も含む。	

\* Global Business and Economics 教育プログラムを希望する場合は、上記に加え以下の点を特に評価します。(1)国際コミュニケーション能力、(2)グローバルな環境下での協働性やリーダーシップ、(3)数学的思考力、(4)経済と経営への関心度、(5)学修意欲、(6)人間性・倫理観。

## (3) その他

上記の選抜方法で実施しがたい事情が大学に生じた場合には、志願者全員にその旨を通知します。

## 5. 合格者発表

合格者の発表は次のとおり行います。（※掲載期間は合格者発表日から4日程度です。）

日時	方法等
平成28年(2016年) 12月15日(木) 13:00頃	左記日時に、本学ホームページに合格者受験番号を掲載します。 また、合格者のみへ合格通知書を郵便で発送します。 (URL: <a href="http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html">http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html</a> ) なお、電話による照会には応じません。

## 6. 入学時期及び手続期間

入学の時期は平成29年(2017年)4月です。

入学手続期間は平成29年(2017年)1月19日(木)～1月25日(水)です。詳細については別途通知します。

## 7. 入学に必要な経費

(1) 入学金 282,000円 [現行]

(2) 授業料 春学期分267,900円 (年額 535,800円) [現行]

(注1) 入学金及び授業料は、改定される場合があります。

(注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には改定時から新しい授業料が適用されます。

(注3) 詳細は入学手続書類と一緒に送付します。

## 8. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

下表に該当する者（出願受付締切後の不慮の事故による負傷等を含む）は、受験及び修学の上で配慮を必要とすることが起こり得ますので、出願する前に必ず社会科学系経済学務係まで相談ください。  
なお、下表から判断できない場合については、お尋ね下さい。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもの のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能 又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器の使用によ っても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基 本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観 察指導を必要とする程度のもの
病 弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が 継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

## 9. 特別入試に不合格になった場合の一般入試への出願について

特別入試出願者は、選考の結果「不合格」となった場合に備えて「前期日程」から1つ「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部に出願することができます。

なお、その際は大学入試センター試験の指定教科・科目の受験等、志望する大学・学部の出願要件に留意してください。

## 10. 受験者心得

- (1) 第2次選抜試験当日は、10時00分に経済学部1号館1階エントランスホールに集合し、受験に関する注意事項の掲示を確認してください。
- (2) 試験室入室の際には、受験票を提示してください。
- (3) 第2次選抜試験（小論文）において使用を許可するものは、筆記用具、鉛筆削り、消しゴムに限ります。
- (4) 志願者に対する宿泊施設等の斡旋はしません。
- (5) 志願者に対する通知は、入学願書に記載された日本国内の連絡先に行います。

## 11. 個人情報の取り扱いについて

志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者入試に係る用途の他、入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査にも利用することがあります。調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。



平成28年8月

## 横浜国立大学 経済学部

(事務担当)

横浜国立大学社会科学系経済学務係

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-3

電話：045-339-3509

E-mail：int.keizai@ynu.ac.jp